

市民社会創造ファンドにおける市民活動助成プログラムの概要(1) (2016年9月30日時点で助成が決定して公表済のプログラムの現状)

事業名称	ファイザープログラム	中央ろうきん助成プログラム	Panasonic NPO サポート ファン ド 子ども分野	スミセイ コミュニティスポーツ 推進助成プログラム	タケダ・ウェルビーイング・プロ グラム	ハマダ基金プログラム	市民ファンド推進プログラム
テーマ	心とからだのヘルスケアに関する 市民活動・市民研究支援	個性が輝く “ひと・まち・くらし”づくり	客観的な視点を取り入れた組 織基盤の強化	コミュニティスポーツによる健や かなひとづくりと社会づくりにむ けて	長期療養の子どもたちに“生き る力”を	生活上の困難をもつ人々の救 援	市民ファンド／コミュニティ財団 の着実な発展をめざして
助成主体	ファイザー株式会社	中央労働金庫 (中央ろうきん社会貢献基金)	パナソニック株式会社	公益財団法人住友生命健康財 団	武田薬品工業株式会社の毎年 度の寄附によりファンドが実施	個人の一括寄附によりファンド が実施	公益財団法人トヨタ財団の助成金 を受けて、市民ファンド推進連絡会 の協力の下に、ファンドが実施
助成対象要件 (対象地域・他)	日本国内で活動する NPO (活動地域が海外も含む)	関東 1 都 7 県のボランティアグ ループ・市民団体	子どもたちの健やかな育ちを応 援する NPO/NGO	日本国内で活動する NPO や NPO を含むチーム	日本国内で活動する NPO	日本国内で活動する NPO	日本国内の市民ファンド／コミ ュニティ財団
募集期間	新規:2015.6.8～6.19 継続:2015.7.27～8.7	2016.1.4～1.14	新規:2015.7.16～7.31 継続:2015.8.17～8.24	2015.10.26～11.9[(非公募・計画型)	(非公募・計画型)	2015.10.15～10.30
助成期間	2016.1.1～12.31 (継続助成あり)	2016.6.1～2017.5.31 (スタート助成は 3 年まで継続)	2016.1.1～12.31 (継続助成あり)	2016.4.1～2017.3.31 (継続助成あり)	適宜 (継続助成あり)	2016.4.1～2019.3.31 (継続助成あり)	2016.1.1～12.31
助成金総額 [助成件数]	3,000 万円 [新規 8 件・継続 8 件]	1,970 万円 [スタート 51 件・ステップアップ 5 件]	1,500 万円 [新規 5 件・継続 5 件]	1,388 万円 [第1種:12 件・第 2 種 4 件]	639 万円 [新規 3 件・継続 1 件]	600 万円 [1 件]	670 万円 [4 件]
1 件当りの 助成限度額	300 万円	スタート助成:30 万円 ステップアップ助成:100 万円	200 万円	第1種助成:50 万円 第2種助成:200 万円	50～200 万円程度	上限なし	200 万円
選考委員長	[新規]稲沢公一(東洋大学ライ フデザイン学部 教授) [継続]武井秀夫(千葉大学 名誉教授)	葉袋奈美子(日本女子大学 家 政学部 住居学科 准教授)	森本真也子(子ども劇場東京 都協議会 常任理事/子ども 文化地域コーディネーター協会 専務理事)	福岡孝純(日本女子体育大学 招聘教授)	(運営委員長)※1	(運営委員長)※1	田中皓(助成財団センター 専 務理事・事務局長)
備考 (経緯・特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・2001 年より助成開始(2008 年、2013 年にプログラム改訂) ・2008 年新規助成より「市民研究」への助成を開始 ・2014 年新規助成より「中堅世代のヘルスケア」をテーマとし、就労等を通じた社会参加を重視 ・3 回までの継続助成あり ・人件費や事務局諸経費など間接経費も助成 ・中間インタビューを実施(新規助成のみ) ・応募プレゼンテーションを実施(継続助成のみ) ・『ビッグイシュー日本版』にて助成対象を紹介 ・公募開始時にプレスセミナーを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2002 年より助成開始(2006 年にプログラムの一部を見直し) ・活動への助成(スタート助成は新たな活動の開始を応援。ステップアップ助成はその活動の展開を応援) ・スタート助成は 3 年まで継続助成あり ・ステップアップ助成はスタート助成で 3 年または 2 年の助成を受けた団体が対象 ・ポスターセッションによるフォローアップミーティングを実施(スタート助成 1 年目のみ) ・各都県の NPO 支援組織と労金都県本部が選考に協力 ・助成金に労金顧客からの寄付金を含む(2013 年終了) ・2015 年より助成対象外となった団体のフォローを行うセミナーを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2001 年より助成開始(2006 年よりファンドの協力開始。2006 年と 2011 年にプログラムを改訂。2013 年にプログラムの一部を改訂) ・子どもに関わる NPO/NGO の組織診断または組織基盤強化の取り組みに対し、最大 3 年まで継続して応援 ・コンサルタント費、事務局人件費、研修費を主に助成 ・中間インタビュー、成果報告会を実施 ・公募時に組織基盤強化ワークショップ、贈呈式で組織基盤強化フォーラムを実施 ・第三者機関による助成事業評価を実施 ・『ビッグイシュー日本版』にて助成事例を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・2010 年にコミュニティスポーツの実態・社会的役割を明らかにするための調査・研究助成 ・2011 年にコミュニティスポーツの実践助成を開始 ・2012 年から 2014 年まで、東日本大震災復興支援特別助成を実施 ・2016 年 4 月より、実践助成を対象とした第 II 期プログラムを開始 ・地域に密着した第 1 種助成、地域連携を特徴とする第 2 種助成を設定 ・先駆的・独創的な取り組みを応援する一般課題、社会参加が困難な人たちの取り組みを応援する特定課題を設定 ・助成事例を取材し、記事を WEB で発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・2009 年より助成開始 ・2014 年より第 2 期開始 ・計画型助成(非公募)により市民社会創造ファンドから声を掛けた NPO と対話しながらプロジェクトを作り上げて助成 ・継続助成可 ・中間インタビュー実施 ・2014 年 10 月より第 2 期を開始。地域における長期療養児と家族の受け皿づくりに重点を置いた助成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2009 年より助成開始 ・計画型助成(非公募)により市民社会創造ファンドより声を掛けた NPO と対話しながらプロジェクトを作り上げて助成。 ・継続助成可 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016 年より助成開始 ・市民ファンド／コミュニティ財団の運営基盤が強化されることを目的とし、多様な成長・発展モデルが確立されることを期待 ・事業の要となる助成活動を応援する【助成プログラム】と、運営の中核を担う人材の強化を応援する【研修プログラム】を両輪として実施 ・トヨタ財団からの 2 ヶ年の助成終了後は、他の財団や企業からも幅広く資金を集めながら自立的な運営を目指す

※1 市民社会創造ファンド運営委員長・副運営委員長の合議による。

市民社会創造ファンドにおける市民活動助成プログラムの概要(2) (2016年8月31日時点で助成が決定して公表済のプログラムの現状)

事業名称	住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム		東日本大震災現地NPO応援基金		
	活動・研究助成	インターンシップ奨励プログラム	第1期助成	第2期助成	[特定助成] 大和証券フェニックスジャパン・プログラム
テーマ	東日本の再生過程に若者の参加を		「臨機に、迅速に、柔軟に」	被災者の生活再建を支援する 現地 NPO の組織基盤強化	被災者の生活再建に取り組む NPO の人材育成
助成主体	住友商事株式会社		第1期および第2期一般助成は幅広い募金により、第2期特定助成は大和証券グループの寄附により、認定特定非営利活動法人日本 NPO センターが実施		
助成対象要件 (対象地域・他)	東日本大震災の再生に関わる NPO 等	東日本大震災の再生に関わる 宮城県・福島県の現地受入れ 団体(NPO)及びインターン	救援活動に取り組む現地 NPO ならびに NPO 支援組織	被災者の生活再建を支援する 現地 NPO	被災者の生活再建に取り組む 現地 NPO
募集期間	新規:2015.10.15~10.30 継続:2016.1.8~1.15	2016.4.23~5.16	(非公募・計画型)	第9回:2015.1.23~1.30 第10回:2015.6.16~6.30	新規:2016.6.1~6.8 継続:2016.7.1~7.6
助成期間	2016.4.1~2017.3.31 (Bコースのみ継続助成あり)	2016.7.1~2017.3.31	2011.4.27~2012.3.31 (助成開始より6ヶ月以内)	第9回:2015.4.1~2016.3.31 第10回: 2015.10.1~2016.9.30	2015.10.1~2016.9.30
助成金総額 [助成件数]	4,402万円 [Aコース:18件、Bコース新規:6 件、Bコース継続:6件]	965万円 インターン活動実施費として [受入団体9、インターン14名]	4,380万円 [27件]	第9回:701万円[継続3件] 第10回:550万円[継続2件]	2,850万円[新規4件・継続4 件]
1件当りの 助成限度額	Aコース:10~50万円 Bコース:50~300万円	インターンには奨励金(800円 /時)を、受入団体には協力金 (3万円or4.5万円/月)を支 払う	概ね100万円	300万円	新規助成:500万円 継続助成:400万円
選考委員長	実吉威(市民活動センター神戸 理事・事務局長)	(住友商事・市民社会創造ファ ンド・現地協力団体の合議)	(日本 NPO センターおよび市民 社会創造ファンド)	島田茂(日本YMCA同盟 総 主事)	須田木綿子(東洋大学 社会学 部 教授)
備考 (経緯・特徴)	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年より助成開始 ・東日本大震災で被災した人・地域の再生を願い、その過程に参加するユースを応援 ・Aコース:ユースが任意のチーム/サークル/グループで取り組む活動や研究 ・Bコース:NPO/大学(院)等の組織においてユースが主体的に取り組む活動や研究 ・2013年よりBコースのみ継続助成を開始 ・フォーラムを開催(Aコース・Bコース新規の中間報告会および公開シンポジウムを実施) ・中間インタビューを実施(Bコース継続のみ) ・2016年が助成最終年 	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年は宮城県で開始。 ・2013年は宮城県に続き、福島県で実施。 ・2014年以降は宮城県、福島県に続き、岩手県で実施。 ・9か月の長期インターン ・宮城県現地協力団体はせんだい・みやぎ NPO センター。但し2016年は依頼なし。 ・福島県現地協力団体は福島 NPO ネットワークセンター ・岩手県現地協力団体は未来図書館 ・事前研修及び入校式は3県合同開催(福島にて) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2011年より助成開始 ・2011年10月までを救援期として、救援活動に取り組む現地 NPO ならびに NPO 支援組織への助成 ・市民社会創造ファンドのプログラム・オフィサーが被災地の岩手県・宮城県・福島県を月1~2回程度訪問し、助成対象候補となる団体を調査 ・日本 NPO センター代表理事、事務局長およびファンド事務局長の合議により、助成対象を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年より助成開始 ・2011年11月以降を生活再建期として、被災者の生活再建を支援する現地 NPO の組織基盤強化への助成 ・助成開始3ヶ月後、9ヶ月後にフォローアップインタビューを実施。6ヶ月後に中間情報交換会を実施。助成終了後に活動報告会を実施。 ・第9回より継続助成の実施のみ ・第10回で終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年より助成開始 ・被災者の生活再建に取り組む NPO の人材育成への助成 ・人材育成を目的として雇用の確保と育成を目的に人件費を中心に助成 ・継続助成も実施 ・助成対象団体は四半期ごとにスタッフ育成レポートを提出 ・合同研修会(年2回)を実施 ・助成開始半年後を目途にフォローアップインタビューを実施。